

各位

上場会社名 株式会社 研創
 代表者 代表取締役社長 林 良一
 (コード番号 7939)
 問合せ先責任者 執行役員総務部長 浦上 忠久
 (TEL 082-840-1000)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,505	19	△9	△12	△3.00
今回発表予想(B)	1,393	△24	△54	△71	△17.83
増減額(B-A)	△111	△43	△45	△59	
増減率(%)	△7.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	1,515	△87	△114	△188	△47.26

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,375	237	169	102	25.51
今回発表予想(B)	3,120	181	122	102	25.51
増減額(B-A)	△255	△56	△47	0	
増減率(%)	△7.6	△23.6	△27.8	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	3,373	102	44	46	11.60

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,457	16	△11	△13	△3.25
今回発表予想(B)	1,376	△22	△52	△70	△17.74
増減額(B-A)	△80	△38	△41	△57	
増減率(%)	△5.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	1,468	△91	△118	△193	△48.29

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,275	231	166	98	24.51
今回発表予想(B)	3,100	182	122	101	25.26
増減額(B-A)	△175	△49	△44	3	
増減率(%)	△5.3	△21.2	△26.5	3.1	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	3,289	98	32	33	8.42

修正の理由

業績予想時、2010年度における国内経済のマクロ的需給バランスは、まだら模様ながら全体としては下げ止まり、当サイン業界におきましても需要減少は下げ止まると予想しておりましたが、当第2四半期連結累計期間を通じて、株式市場の低迷や円高の進行により自律回復の動きは弱く、当サイン業界も受注の拠り所としておりますオフィスビル・商業ビル等の建築投資意欲減退により需要減少は下げ止まらず、当第2四半期累計期間における売上高については連結で1億11百万円、個別において売上高は8千万円の減少となりました。それに伴いまして連結個別ともに営業利益、経常利益、当期純利益もそれぞれ減少となりました。

また、当通期累計期間の予想につきましては、当第3四半期以降も当第2四半期連結累計期間と同様の状況で推移すると予想されます。また、平成22年7月をもって営業活動を終了いたしました子会社プラコムの上高の減少額8千万円等の影響もあり、連結個別ともに売上高の減少が予想され、それにとまなう営業利益・経常利益について減少の見込みとなります。なお、当期純利益に関しましては、繰延税金資産の取崩しが当初予定した額よりも下回ると予想され、連結個別ともに前回発表とほぼ同額を予想します。

〔業績予想の留意事項〕

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報をもとにした仮定を前提としており、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。